

## ニューナンブM60 .38口径回転式拳銃

種類 自衛用拳銃

製造国 日本

設計・製造 ミネベア工業（旧新中央工業）

年代 1960年 - 現代

仕様

種別 リボルバー

口径 .38口径

銃身長 51mmもしくは77mm

ライフリング 5条右回り

使用弾薬 .38スペシャル

装弾数 5発

作動方式 シングル/ダブルアクション

全長 198mm

重量 685g

発射速度 不明

銃口初速 不明

有効射程 50m

歴史

設計年 1951年

製造期間 1960年 - 現在

配備期間 1960年 - 現在

配備先 警視庁・海上保安庁・旧国有鉄道

関連戦争・紛争

バリエーション 51mm銃身型、77mm銃身型それぞれ新旧バリエーションが存在するとされる。

シングルアクション射撃での命中精度は比較的良好であるとされるが、ダブルアクション射撃では不安定とされている。日本人向けに開発されたと云われるグリップだが、実際に銃を保持すると厚みがあり、グリップ長が短いため小指が掛かりにくい、グリップが割れやすい等の問題もあった。その他、I型では弾倉を開放する際に使用するラッチ部の形状が小型で薄く、操作性に問題もあった。改良型であるII型はグリップ前面を延長するとともに材質も変更され、ラッチも大型で厚い物に変更となった。

納品時の表面仕上げはブルー仕上げだが、錆の発生などでパーライジング仕上げ(つや消し)に再処理された物も存在する。

引き金機構はシングル・ダブルアクション両用だが、警察の射撃訓練では主にシングルアクションが用いられる。

安全装置の一つとして、引き金の後ろに詰め込んで動きを止める安全ゴムが用意されている。これは日本警察独特の方法であり、ニューナンブM60に限らず多くの回転式拳銃の安全策として採用されているが、各警察本部や部署によって使用基準は異なる。

シベリア特殊部隊ではシノハラピッチ伍長と警備司令が護身用として携帯している。